

# 2013 西日本学生クリテリウム in みやだ

## 大会要項

主催 西日本学生自転車競技連盟

主管 西日本学生自転車競技連盟

協力 長野県上伊那郡宮田村、長野県自転車競技連盟

大会会場 長野県上伊那郡宮田村 8228-1 中越地区 日本アルス先農道 L=1.0km

大会趣旨 本大会は2012年度日本学生自転車競技連盟に登録した学生選手、社会人、ジュニアによるクリテリウム競技会優勝者決定とともに、集団走行技術向上、地域振興を目的とする。

また、競走参加の前提として、集団走行技術の習得が必要であることを選手に意識させることを目標とする。

期 日 2013年3月9日(土) 3月10日(日)

競技種目 クリテリウム

参加資格 平成 24年度に有効な(財)日本自転車競技連盟登録競技者、または、UCI 加盟国内競技者ライセンス保持者であること。もしくは平成 25年度更新手続き中であることが証明できること

競技 A 最大80名程度

学連登録の場合、学生クラス1+2相当、実業団登録の場合 TR, BR 相当の選手、又は主管者が同等と認める選手。

ジュニア選手の場合、1995, 1996年生まれで主催者が同等と認める選手。

U17以下の参加は認めない。

競技 B 最大100名程度

学連登録の場合、学生クラス3相当、実業団登録の場合 ER 相当の選手、及び主管者が同等と認める選手。尚、このうち、タイムトライアルの結果により、競技Cを形成する。残りの選手は人数により2分割を行い、競技B-1、競技B-2とする。

ジュニア選手の場合、1994, 1995年生まれで主催者が同等と認める選手

U17、女子など、主管者が同等と認める選手

講習会 宿舎において、集団走行技術、乗車技術等の座学講習会を、コーチを招き、開催します。参加宿泊選手の聴講を義務付けます。その他として、大会期間中、競技以外の時間において、集団走行技術、コーナーリング技術について、指導を行う計画です。

<参加申し込み>

1. 参加希望選手は学校やチーム単位毎に所定の様式にて2月24日(日)までに関西学生自転車競技連盟 あてに申し込むこと。
2. 参加申し込み期限以降の参加申し込みについては、レイトフィー1,000円を追加支払いすることで、申し込みを受け付ける場合がある。
3. 所定の様式は下記日本学生自転車競技連盟ホームページからダウンロードできる。  
<http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/jicfrc.html>
4. 参加費 8,000円 (宿泊費5000円にて斡旋いたします。)
  - 1名、2日間、土曜日夜に宿舎にて講習会を開催いたします。
5. 主催者指定の講習会会場宿舎利用を参加の条件とさせていただきます。
6. 競技者住所が長野県内近傍の競技者はこの限りでないが宿舎で行われる講習会には出席すること。

7. 参加を希望する選手は、所定の様式にて大学ごとに下記方法にて申し込むこと。

①参加料の送金は所定の郵便口座に送金すること。

店名 418

店番 418

口座番号 2401541

加入者名 西日本学生自転車競技連盟 平谷 彩乃

②参加申込書は日本学生自転車競技連盟HPから所定のファイルをダウンロードし、参加申込書を入力後、事務局メールアドレス(E-Mail: wjicf2012@gmail.com)にxls形式で添付し、電子メールにて事務局に送付すること

③参加申込書と領収書の写しを添付して、事務局に郵送すること。

**※①参加料の送金 ②電子メールでのファイル送付、③参加申込書と領収書の写しの事務局への郵**

**送**

**の3つを完了して正式エントリーとなります。**

**送付先** 住所:〒603-8149 京都市北区小山南上総町 14-1 グリーンヒル紫明 203

西日本学生自転車競技連盟 会計担当 平谷 彩乃

tel: 090-2080-4411

郵送書類の到着を持って正式申し込みの受領とするが、同一の内容を電子メールにて大会事務局アドレス宛に送付すること。

大会事務局

西日本学生自転車競技連盟 委員長 中村 一樹

住所:〒601-1123 京都市左京区静海市原 42 ヌーボ静市 212 号室

Tel: 080-2410-4446 E-mail: wjicf2011@gmail.com

送金人名義について 振込み元に学校、チーム名が分かるように記入すること。

8. 宿泊費用は1泊2食付 5,000円とする。(講習会会場利用費用込)

別紙様式に必要事項を記載して 下記指定宿泊先に直接ファックスにて申し込むこと。

申し込み期限は平成25年2月24日(日)とする。

指定宿舎 信州伊那峡「信山荘」

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村6090(クリテリウムコースから約1km)

0265-85-2025

選手受付 長野県上伊那郡宮田村 8228-1 日本アルス地先 2013年3月9日 10:00~10:45

指定時間内にライセンス(又は、選手登録手続き中であることを証明する書類)を提示してゼッケンを受け取ること。

賞品・賞典 各競技において、競技終了直後にゴールライン付近で 上位3選手を表彰する。

競技Aにおいて2日間の総合成績 1位を表彰する。同得点の場合、2日目の成績による。

競技A、競技B各々、周回賞を設定する予定

事故処置 競技中発生した事故処置は JCF 競技規則第6条による。

主催者にて応急処置の範囲の体制は準備する。

想定される緊急搬送先は下記のとおりである。

昭和伊南総合病院 駒ヶ根市赤穂3230

(中央道駒ヶ根インターアクセス道路北原交差点南200m)

電話 0265-82-2121 <http://www.sihp.jp/>

競技規則 JCF 競技規則及び別紙大会特別規則による。

随時コミュニケをゴールライン付近に掲示する。

## 大会日程

### 2013. 03. 9(土)

- 09:30 役員集合 本部、コース設定 10:00～10:45 選手コース到着 選手受付開始  
 11:00 競技B :個人タイムトライアル 1分間隔 1周回+200m=1.2km(グループ分け実施)  
 13:00 競技C :クリテリウム (30分+10周回)出走20人程度  
 14:00 競技B-1:クリテリウム (20分+20周回)  
 15:00 競技B-2:クリテリウム (20分+20周回)  
 16:00 競技A :ポイントレース(50分+5周回)  
 20:00 講習会 グループごとに3～4テーマで講習会(参加人数、講師手配で調整あり)(約2時間)

### 2011. 03. 10(日)

- 09:00 選手集合  
 09:30 競技C :クリテリウム (30分+10周回)出走20人  
 10:30 競技B-1:クリテリウム (20分+20周回)  
 11:30 競技B-2:クリテリウム (20分+20周回)  
 12:30 競技A :ポイントレース(90分+5周回)

## 特別競技規則(案)

### 競技B

#### 第1条(競技)

#### 1. タイムトライアル、グループ分け

競技Bにおいて技術水準の差があると予測されるため、安全を考慮し、グループ分けして競技を行う。

- ・競技B参加全選手は1日目に個人タイムトライアル1.2kmに参加する必要がある。

タイムトライアル成績の下位選手は競技Cとしてクリテリウムを行う。

競技Cの人数は最大20名を想定しているが、全体参加人数により修正する。

当日コミュニケにて発表する。

- ・タイムトライアル成績の上位選手は競技Bのクリテリウムを行う。

競技Bの人数は最大40名を想定しているが、全体参加人数により修正する。

参加人数が多い場合2グループ(1,2)に分割する可能性がある。

当日コミュニケにて発表する。

#### 2. 有力選手のペーサー付きクリテリウム

- ・集団走行技術の向上と安全のため、下記のとおりペーサー付きのクリテリウムとする。

	1列併走	2列走行	自力競走	成績
競技C	時速25km/h	時速30km/h	自力走行	ゴール着順
	0～15分	15～30分	10周回	
競技B	時速30km/h	時速35km/h	自力競走	ゴール着順
	0～10分	10～20分	20周回	

<競走時間>

#### 3月12日(土)

- 13:00 競技C :クリテリウム(30分+10周回)出走20人程度  
 14:00 競技B-1:クリテリウム(20分+20周回)  
 15:00 競技B-2:クリテリウム(20分+20周回)

3月13日(日)

09:30 競技C :クリテリウム(30分+10周回)出走20人程度

10:30 競技B-1:クリテリウム(20分+20周回)

11:30 競技B-2:クリテリウム(20分+20周回)

・ゴール地点で経過時間を表示する。

ペーサー中コーチから安全のための指導がハンドマイクである。

1周回バイクの真後ろで走行した選手は後ろに下がること。

2列走行の場合それぞれ列の外側に出て 後ろに下がり 適宜集団の中に入ること。

速度と時間に関しては、現場で調整する可能性がある。

指定時間を経過した後 残り集回数をゴールライン付近で表示する。

周回賞を随時ベルで設定する。

## 第2条(失格、棄権)

1. ペーサー中を含めて大集団から遅れた選手は、ゴールライン付近で失格を宣告する。
2. 失格を通告された選手は競技を中止して、コースから外れ、速やかにゼッケンをはずすこと。

## 第3条(昇格、降格)

競技C上位3選手は翌日の試合から競技Bに昇格する。

**競技B上位3名及び学生の上位3名は翌日の試合から競技Aに昇格する。**

上位3名が全員学生の場合 昇格人数は3名となる。

上位3名のうち学生が1名の場合、昇格人数は2+3=5名となる。

**ペーサー中に集団から脱落した選手については、脱落時期に応じて競技Cに降格とする。**

## 第4条(機材、事故、その他)

競技Cでは使用できる最大ギヤ比を52×17以下に指定する。

ジュニア(1994,1995 生まれ)、U17(1996,1997 生まれ)に対して、ギヤ比制限を行う。

ポジション確認を行う場合がある。違反の場合、ポジションの修正を行う。

飲食料の補給は認めない。

認められた事故の場合、代車、代輪の交換はゴール付近ピットにて可能とする。

- ① 最後の2周回を除き、1周回のニュートラリゼーションが与えられる。
- ② ニュートラリゼーション直後の周回賞では順位を与えない。

## 第5条(集団走行練習)

競技グループごとに、集団走行練習、クリテリウムを通じてコーチが2日間一貫して指導する。

クリテリウムに隣接している公道を利用し、クリテリウム前に集団走行の基礎技術を練習する。

練習内容は2月10日を目標に以下の日本学生自転車競技連盟ホームページで公表する。

<http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/jicfrc.html>

参加する選手は事前に提示される課題(集団走行するために必要な個人の能力)を練習すること。

競技グループごとに集団走行練習を行う。

技術レベルに差があると思われる場合、集団走行練習で他グループに混入しないこと。十分離れること。

補助コーチが自転車で併走しながら 指導する場合がある。

## 競技A

### 第1条(競技)

#### 1. クリテリウム

・集団走行技術の向上と安全のため、下記のとおりバイクペーサー付きのクリテリウムとする。

	1列併走	2列走行	自力競走	成績
競技A	時速35km/h 0～10分	時速40km/h 10～30分	自力競走 20分以降	ポイント多寡による

<競走時間>

3月9日(土) 16:00 ポイントレース50分+5周回

3月10日(日) 12:30 ポイントレース90分+5周回

・ゴール地点で経過時間を表示する。

ペーサー中コーチャーから安全のための指導がハンドマイクである。

1周回ペーサーの真後ろで走行した選手は後ろに下がること。

2列走行の場合それぞれ列の外側に出て 後ろに下がり 適宜集団の中に入ること。

速度と時間に関しては、現場で調整する可能性がある。

・クリテリウムは中間スプリントとゴールで与えられる得点を元に順位を決定する。

同得点の場合は、中間スプリントの勝利数による。以上において同等の場合、ゴール着順による。

競技開始後10分間は2列走行20分までは1列走行とする。

中間スプリントは競技開始後25分から5分間隔を目安に上位3選手に3, 2, 1点を与える。

最終ゴールでは上位4選手に5, 3, 2, 1点を与える。

周回の獲得/損失には+20点/-20点を与える。

### 第2条(失格、棄権)

1. ペーサー中を含めて大集団から遅れた選手は、ゴールライン付近で失格を宣告する。

2. 失格を通告された選手は競技を中止して、コースから外れ、速やかにゼッケンをはずすこと。

### 第3条(機材、事故、その他)

1. **ジュニア(1994,1995 生まれ)、に対して、ギヤ比制限を行う。**

ポジションに関して確認を行う場合がある。違反の場合、ポジションの修正を行う。

2. 飲食料の補給は認めない。

3. 認められた事故の場合、代車、代輪の交換はゴール付近ピットにて可能とする。

**最後の2周回を除き、1周回のニュートラリゼーションが与えられる。**

**ニュートラリゼーション直後の中間ポイントではポイントを与えない。**

### 第4条(個人総合成績)

1. **競技Aにおいて2日間のポイント合計で総合成績を与える。**

ポイント合計で同点の場合、2日目の成績順とする。

どちらか1日が棄権、失格となった選手は0点として、総合成績を計算する。

2日間とも、棄権、失格の選手には 総合成績を与えない。

土曜日に競技Aに昇格した選手は全員3点を総合成績得点として、日曜日のクリテリウムに参加する。

### 第5条(集団走行練習)

2013ツール・ド・北海道で 違和感なく 大集団先頭部分で走る技術習得を目標とする。

集団走行練習、クリテリウムを通じて、指導実績のあるコーチが2日間一貫して指導する。

・クリテリウムに隣接している公道を利用して、クリテリウム前に集団走行の基礎技術を練習する。

練習内容は2月10日を目標に以下の日本学生自転車競技連盟ホームページで公表する。

<http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/jicfrc.html>

参加する選手は事前に提示される課題(集団走行するために必要な個人の能力)を練習すること。

グループごとに集団走行練習を行う。

・競技Bの選手とは技術レベルに差があるので、集団走行練習で他グループを混入させないこと。

補助コーチが自転車で併走しながら 指導する場合がある。



FAX 0265-85-2025

宿泊申し込み先 信山荘

申し込み期限 H25年2月17日

## 2013 西日本学生クリテリウム in みやだ

## 宿泊講習会申込書

2013年3月9日(土)宿泊

下記内容で 宿泊の申し込みをします。

団体名称 (学校・チーム)	
ふりがな 代表者氏名	
住 所	〒 _____ 都道 府県 _____
電 話	— —
ファックス	— —
宿泊人数	合計 ___ 名 ( 男 ___ 名、女 ___ 名)
備 考	

## { 回 答 書 }

以下、宿泊施設記入

宿泊施設名	信山荘
住所・電話	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村6090 0265-85-2025
費用総額	宿泊@5,000円 × 名 = 円
連絡事項	